

# 1. 「ひと」と「しごと」の好循環とそれを支える「まち」の活性化に向けて

## (1) 防府市庁舎の駅北公有地の建設による都市機能の集約について (新規)

防府駅を中心とした中心市街地に庁舎が建設されることで、コンパクトなまちの形成による、より質の高い行政サービスの提供が可能となり、住みたくなる街として定住人口の創出・雇用の確保、にぎわいの創出につながる。

つきましては候補地の一つとなっています駅北公有地への市庁舎の建設を要望します。  
〈要望先：防府市〉

## (2) 中心市街地を走る2本の南北道路の拡張について (新規)

快適で利便性の高い中心市街地を有することは安定した都市経営を行う上でとても重要となりますが、防府市駅北側の中心市街地は空き家、空き店舗、空き地が増加し空洞化が進んでいます。この対策を講じるにも、道路幅が狭く、開発や斜線制限などの規制による高度利用がしづらい状況にあります。

つきましてはこれからコンパクトシティを推進していく上でも、都市計画道路予定となっております中国労働金庫防府支店及びビルサス防府から旧国道2号線への道路の拡張を要望します。  
〈要望先：防府市〉

## (3) 中心市街地活性化協議会の立ち上げと中心市街地活性化基本計画の策定について (新規)

少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地の都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進していく上で、中心市街地活性化協議会を立ち上げ、行政による中心市街地活性化基本計画を策定していただくことは上記(2)のような事業を含め、まちなか居住、都市施設の充実を図る上で方向性を明確にするとともに、国の都市再生整備事業の活用にもつながります。

つきましては早急に同協議会の立ち上げへのご協力、基本計画策定を要望します。  
〈要望先：防府市〉

## (4) 空き家、空き地対策事業の推進について (新規)

少子高齢化、核家族化に伴い平成10年以降、急速に空き家が増えてきています。空き家は環境保全及び安全で安心な市民生活を送る上で問題となっていますが、街づくりを行う上でも障害となりつつあります。平成24年3月に空き家等の適正管理に関する条例が施行されていますが、県内の同条例を施行している市では唯一、代執行の規定もなく、空き家数、状況の実態把握とまではいっていないと聞いています。

つきましては、近年増えてきている空き地を含め、街づくり、健全な都市経営という観点からも、早急に対策事業の推進を行ってもらうと共に、官民が連携してその対策を講じることができないか協議の場を開いて頂くことを要望します。

〈要望先：防府市〉

#### (5) 木造住宅建替え助成事業の創設について (新規)

東日本大震災において、倒壊や大破した建物の多くが昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された木造住宅であったことから、市全体の住宅耐震性能の向上、住環境面からの減災、災害対策が充実した魅力あるまちづくりのため、新たな仕組みづくりが必要となっております。

特に、中心市街地においては、コンパクトシティ実現のため、まちなか居住の促進を図る必要があり、安心して住み続けていくために住環境の整備は重要となっております。

つきましては、中心市街地にある旧耐震基準で建築された住宅を解体し、新たに建替え新築する住宅に対して、工事費の10%・上限70万円を助成する制度の創設を要望いたします。

<要望先：防府市>

#### (6) 狭あい道路の整備促進と用地の買収について (新規)

市内には狭あい道路と呼ばれる、消防車や救急車が入れない道幅4m未満の道路がたくさんあり、市では安心、安全なまちづくりを行う為に、この道を拡幅する事業（費用の一部助成等）を行われていますが、現状はなかなか進んでいない、1軒が後退した家も隣接地が進まないことで待避所にしかならないと聞いています。他市では拡幅に関して土地所有者から後退土地の寄付して頂くのではなく、行政が買収を行い、住みよいまちづくりを進めているところもあります。

つきましては狭あい道路の整備は空き家対策、空き地対策につながることもあり、健全な都市経営を行う上ではとても重要になってくることから後退用地の買収といった積極的手法により整備の促進を要望します。

<要望先：防府市>

## 2. 地域経済に新たな息吹を生み出す取り組みについて

#### (1) 創業支援センター内に事業承継相談コーナー新設について (新規)

経営者の高齢化が進み、後継者不在による事業承継問題は年々深刻化する中で、雇用の維持や中小企業の持つ高い技術力を受け継ぎ産業の活力減退を防ぐために、円滑な事業承継を支援していく必要があります。

つきましては、創業支援センター内に、新たに事業承継相談コーナーを設置されますよう要望致します。

<要望先：防府市>

#### (2) インキュベーションシステム（施設）づくりの研究について (新規)

活力ある地域づくりには、起業家や事業の成長を目指すベンチャー企業を継続的かつ集中的に経営支援し、新たな雇用や産業の創出、地域社会の課題解決に繋げて

いく必要があります。

つきましては、支援の拠点となるインキュベーションシステム（施設）について研究されますよう要望致します。

〈要望先：防府市〉

### （３）県立大学の招致、工学部、薬学部、農学部の設置

本市は県内有数の工業都市であるとともに、県立総合医療センター、県立農業大学校といった県内唯一の施設を市内に有する恵まれた環境であることから、他市にない産学官連携による産業のさらなる振興が図れ、若者の定着も期待できます。

つきましては、県立大学への工学部・薬学部・農学部の新設、並びに本市への招致に向けて取り組まれますよう要望致します。

〈要望先：山口県・防府市〉

### （４）若者の市内就職に向けた取り組みについて（新規）

高校を卒業したあと、進学や就職のため毎年約600人が防府市を離れていき、そのまま帰ってこないという状況が続いています。

この要因として、防府市に戻り就職しようとしても、事業所に関する情報が得られていない、また事業所の魅力が十分に伝わっていないという問題が挙げられます。

つきましては、若者が就職先選択をする際、欲しい情報が得られる情報発信の方策について検討いただくよう要望いたします。

〈要望先：防府市〉

### （５）商店街空店舗対策について

今後、少子高齢化を迎え、コンパクトシティづくりや街なか居住を推進していく上で、商店街の役割を再認識する時にきておりますが、現状は高齢化・後継者難による廃業が進んでおり空店舗は増加の一途を辿っております。

今後のまちづくりを進める上でも、引き続き、空店舗対策のための補助金を要望致します。

〈要望先：防府市〉

## 3. 地域経済に確かな成長をもたらすための取り組みについて

### （１）住宅リフォーム助成事業の継続実施について

住宅リフォーム助成事業は5年継続実施されておりますが、申込件数733件、工事総額6億7千万円、申請受付開始から約1ヶ月で助成額に達するなど市民や施工業者から依然としてニーズの高い事業となっております。また、市内共通商品券で助成することにより、小売業への経済循環も図れています。

つきましては、防府経済活性化のため、引き続き本事業を継続されますよう要望いたします。

〈要望先：防府市〉

## (2) 店舗リフォーム助成事業の継続実施とエリアの拡大について

商業地域及び近隣商業地域を対象にした現在の助成制度は、商業地や住宅地を集積させ、投資を呼び込むコンパクトシティの実現のため継続実施が必要な施策です。

加えて、対象エリアを市内全域に拡大することにより、地域の雇用の確保や魅力ある地域づくりが可能になり、これからの地方分権化に耐えうるまちが形成できると考えております。

つきましては、現行エリアに対する助成制度（補助率50%・上限20万円）の継続実施と、対象エリアを拡大し、新たなエリアに対しては、補助率25%・上限10万円とする助成制度の拡充を要望いたします。

〈要望先：防府市〉

## (3) 子育て世代に対する住宅取得助成金制度の創設について（新規）

本市においても、少子高齢化の進展により、年少人口、生産年齢人口の減少は大きな問題となっております。

人口減少や人口流出に歯止めをかけ、活力ある地域経済圏を維持するためには、働く世代と次代を担う子供を抱える「子育て世代」に対する施策の充実が重要と考えております。

子育て世代は、経済的負担が多い一方、マイホームを検討する世代でもあることから、住宅取得に対する助成制度は、マイホームを構える地域選びに大きな効果が期待できます。

つきましては、市外からの転入や市内での居住を促し、働き手を確保することによって地域企業の雇用を安定させ、地域の定住人口の増加にもつながる施策として、子育て世代に対する住宅取得助成金制度の創設を要望いたします。

〈要望先：防府市〉

## (4) 医療関係産業クラスターの実現について

本市には、高度なものづくり技術を持つ中小企業が多数存在し、また、先進医療を牽引する県立総合医療センターがあるという強みを生かして、将来の更なる成長が見込めることから、産業の活力増進に繋がる医療関係産業クラスターの早期実現に向けた関連産業の育成や産学公連携の推進、そして医療現場の開発・改良ニーズを的確に把握するための医工連携の推進に取り組まれますよう要望致します。

【産業クラスターとは】

地域の企業、大学、研究機関、産業支援機関の産学公等が広域的なネットワークを構築し、企業間連携・産学連携等によって技術・ノウハウ等の知的資源等を相互活用することにより、地域の強みを活かした新産業・新事業が創出される状態

〈要望先：山口県・防府市〉

## (5) 台道交差点から今宿東交差点間の国道2号線4車線化について

国道2号線は、防府市と山口市を結ぶ物流の大動脈であり、交通量の多い主要

道路ですが、台道交差点から今宿東交差点（山口市鑄銭司）区間の当該路線については4車線化がされておらず、ボトルネック区間として時間帯によっては渋滞の発生による物流の阻害要因となっております。

東南海地震発生時、本市が県央の防災拠点として機能するためには、ボトルネック区間を解消しなければなりません。産業面だけでなく、防災・減災の観点からも、当該路線の4車線化について要望いたします。

<要望先：国交省・防府市>

## (6) 都市計画道路環状1号線の防府バイパス接続の早期完工について

整備が進められている県道防府環状線は山口市秋穂から西浦を經由し、牟礼地区の旧2号線までの接続が完成し、以前より利便性が高くなり、一般車両の交通量も増加しています。しかし、防府バイパスまでは未接続であることから、これを延伸し、接続させると市内の道路アクセスの改善だけでなく、市内外への陸送ルート改善に繋げることができることから、事業者からも特に強い要望が挙げられております。

また、災害時の防災拠点として位置づけのある県央港（三田尻・中関港）と山口市など、近隣市を30分で結ぶことができ、迅速な連携体制がとれることから、早期整備・供用開始について要望いたします。

<要望先：山口県・防府市>



太線の区間が未供用・未整備となっている都市計画道路環状1号線区間

### (7) 都市計画道路環状1号線と開出塚原線の接続について

平成26年6月に閣議決定されました国土強靱化計画の基本目標は「人命の保護」とされています。工場・住宅が集積する中関周辺から国道2号線防府バイパス・山口県立総合医療センターへのアクセス改善は必要となってきております。

また産業界においても、当該路線整備による国道2号線バイパス・山陽自動車道防府インターチェンジへのアクセス改善は物流ルートの効率化や渋滞緩和・中心部へのルート改善・それによる経済的効果も期待できることから、要望の声が上がっております。

つきましては、都市計画道路環状1号線、職業訓練センター西から新橋までの線と、山口県立総合医療センター東の開出塚原線の接続・道路整備について要望いたします

<要望先：防府市>



太線の区間が未整備となっている  
都市計画道路環状1号線・開出塚  
原線区間

### (8) 防府市における都市計画道路の見直しについて

地域経済・交通循環を支える都市計画道路については、計画策定から30年以上を経過してなお未着手・未整備区間が半数近くに及び聞き及んでおります。計画策定時からの時代の変化や、これからの防府市の将来像を考慮しながら、新設路線の検討、長期末着手路線の廃止も含めた見直しについて、事業者・市民の意見を集約しながら、早急に進められますよう要望致します。

<要望先：防府市>



### (9) 中関港の機能強化のためのコンテナヤードの再編整備について

重要港湾三田尻・中関港、特に自動車関連産業等が集積する中関港区は大変重要なエリアであり、効率的な港湾利用のためのインフラ整備の必要性は年々高まっております。

臨港道路で東西に分断され、作業用駐車場のスペースも十分ではない現状の2号岸壁付近のコンテナヤードに、道路付け替えによってヤードの拡張と、不足している各種スペースの拡充を盛り込んだ再編整備の実施を港湾管理者である山口県に対し働きかけられますよう要望いたします。

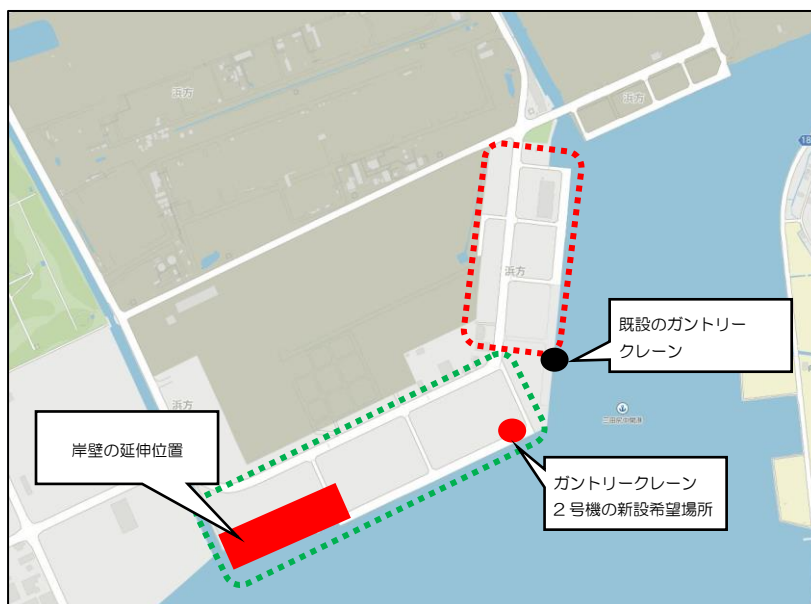
<要望先：山口県・防府市>

### (10) 中関港3号岸壁のガントリークレーン設置・岸壁延伸・耐震化工事の早期着工について

産業港として地域経済の支えとなっていることもあり、あらゆる面で災害時に機能不全に陥らないよう、岸壁の耐震化は不可欠であります。また、コンテナ貨物に役についても特に国際航路においては運送コスト低減に繋がるコンテナ船の大型化が進んできております。

大型コンテナ船は吃水も7mを超えるものも多く、こうした船舶の大型化に中関港が対応していくためには既存の2号岸壁バース水深7.5mを浚渫するのではなく、最も深い12mバースを持つ中関港3号岸壁に大型船対応のガントリークレーンを増設し、あわせて同岸壁を西側へ延伸することで、より効率的な港湾利用に繋がります。ついては中関港3号岸壁へガントリークレーン設置・岸壁延伸及び耐震化工事の早期着工について山口県に対して強く働きかけられますよう要望いたします。

<要望先：山口県・防府市>



## 4. 誇り高き文化・観光都市に向けた交流機能の強化について

### (1) 観光客誘客並びに滞留時間増加のための旅行業者との連携について

国土交通省による貸切バスの運賃・利用制度の変更により、バス運賃が値上がりしたことから旅行業者はツアーを企画する際、貸切バス借上支援制度のある自治体を優先して顧客に紹介する傾向があります。本市は大河ドラマ「花燃ゆ」放送期間中に限り同様の支援制度を設けていますが、平成30年に明治維新150年を迎えるにあたり、今後も観光客の誘客と滞留時間の増加を図っていくためにも、本制度を継続して実施することが重要と考えております。

つきましては、防府市観光バスツアー支援事業を継続実施されることを要望致します。

<要望先：防府市>

### (2) 明治維新150年に向けた協議会の立ち上げについて（新規）

平成30年の「明治維新150年」に向けて山口県をはじめ、県内各市において各種観光事業が行われています。

防府市には明治維新に関わる歴史的施設が多くあることに加え、新たに取り組んでいる産業観光や広域観光にも関連があることから、この事業に取り組むことは重要であると考えております。

つきましては、「明治維新150年」に向けて検討を重ねる協議会の立ち上げを要望いたします。

<要望先：防府市>

### (3) 「みなとオアシス三田尻」と中心とした交流拠点づくりによる地域活性化について

本年7月に潮彩市場防府を中核施設とする「みなとオアシス三田尻」が本登録されました。

交流拠点としての機能強化のために、緑地・運動公園などの整備、野島航路の発着場を潮彩市場付近への移設等、海・港について親しみをもってもらえる「にぎわい空間づくり」が必要であると考えます。

つきましては、三田尻港を中心とした交流拠点づくりについて、関係機関と連携を図られながら早期実現に向けた取り組みの促進を要望いたします。

<要望先：防府市>

### (4) クルーズ等海洋観光の振興を図るための拠点整備・ポートセールスの取り組みについて（新規）

防府市は大型船舶の入港が可能な港湾をもち、防府天満宮・毛利氏庭園など観光資源に恵まれている特性があることから、インバウンド消費による地方への経済効果の大きい、クルーズ等海洋観光の振興を図るための拠点整備および、官民を挙げたポートセールスへの取り組み・推進について、本市が主体となり、関係諸機関と連携して進められますよう要望致します。

<要望先：防府市>



#### (5) 「幸せますフェスタ」への支援について

本年度より、「幸せます」という統一コンセプトのもと「幸せますフェスタ」として各種イベントの運営をはじめたことにより、地域の特性をより明確に打ち出すことができ、全国的に防府を発信することができはじめています。

つきましては、魅力ある地域づくりと賑わいを創出していくためにも「幸せますフェスタ」への助成を要望いたします。

〈要望先：防府市〉

#### (6) まちづくり防府への支援

まちづくり防府では、歴史と文化、伝統を活かした賑わい溢れる防府らしいまちづくりの推進に向けて、商業者、学校、企業、市民等と連携した取り組みを展開しておりますので、引き続き、運営及び事業へのご支援を要望致します。

〈要望先：防府市〉

#### (7) 「ほうふ昭和館」運営の継続支援について

「昭和館」は、当時を懐かしむ世代から子供まで年間 6,000 人が入館し、地域コミュニティ創生の場として、商店街の中で重要な役割を担っております。

また、市内主要観光エリアと商店街を結ぶ、観光回遊施設としても重要な施設でありますので、引き続きのご支援を要望致します。

〈要望先：防府市〉

### 5. 平成28年度市助成金交付申請について

景気は全体としては消費税引き上げに伴う影響がみられるものの、基調としては回復傾向にあるとされています。しかし、人口減少や少子高齢化による国内需要の減少、さらに地方においてはヒトの流出による産業の沈滞、それが引き起こす雇用機会の減少など、決して経営環境が良いとは言われていません。特に中小、小規模事業者は円安による原材料費の高騰をまだまだ適正に価格に転嫁できず、収益を圧迫し厳しい資金繰りを強いられているところも少なくありません。商工会議所では地域総合経済団体として、その機能を最大限に発揮し、経営環境の改善のための施策を講じたり、個々の経営相談に対応しております。

また、中心市街地の活性化や裾野の広い建設業者の活性化対策（住宅リフォーム事業）、「幸せます」商標を活用したブランド展開の支援、「ほうふ幸せますプレミアム商品券」による消費喚起など、地域経済活性化のための幅広い事業展開をおこなっております。

その他にも、今後の地域の将来像を民間と行政が意識を共有しながら検討を進めていく「産業戦略委員会」によるビジョンづくりの他、来年度については現在申請中の経営発達支援計画に基づく、伴走型事業者支援による市内小規模事業者の経営支援を始めとした諸施策に取り組んでまいりたいと考えております。

しかしながら、創業支援の取り組みにより新規開業の促進に努めておりますが、

高齢による廃業などによる事業者数の減少により、会員数は減少傾向にあり、大変厳しい財政状況となっています。

市当局におかれましても、厳しい財政状況にあることは十分承知しておりますが、「まち・ひと・しごと」の創生には先ず地域の中小企業の活性化が必要だと思えます。つきましては、地域経済振興の観点から次年度の市助成金について、下記の申請額通り助成いただくよう要望いたします。

#### 記

平成28年度市助成金申請額      1, 100万円

<要望先：防府市>